

令和7年度

# 事業計画書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

# 令和7年度事業計画書

## 1. 令和7年度事業の実施方針

令和7年度は、白山平泉寺において33年に一度の御開帳が行われます。それに伴い、勝山市では様々な施設で行事が計画されております。

当館は、市との連携による共催特別展として「白山・平泉寺を訪れた人々 御開帳を中心に（仮称）」を4月26日から8月31日にかけて開催予定です。平泉寺の御開帳にまつわる史料を展示し、平泉寺の御開帳と合わせて見ていただくことで、より深く平泉寺について知っていただき、楽しんでいただけるように計画しています。

他に、新しい試みとしてクラウドファンディングの実施を予定しております。内容は賤ヶ岳合戦図屏風の修繕費を募るという事で、このクラウドファンディングと連携するような形で企画展「賤ヶ岳合戦図屏風展（仮称）」を開催し、賤ヶ岳合戦図屏風やそれに関係する品々を展示し、当館所蔵の賤ヶ岳合戦図屏風の価値や歴史を知っていただくために取り組んでまいります。

その他、例年通り勝山市連携施設補助金事業として「第20回絵画作品展「勝山とお城を描こう」」が開催されます。この事業は奥越地区の園、学校に定着し園児から大人まで昨年も多くの方に応募していただき、勝山や大野だけでなく全国各地の方々からも応募が来る事業です。入賞した作品は表彰式を開催し、当館及び市内のショッピングセンターに展示いたします。

以上から今年度は当館が開館して以来、初めての平泉寺御開帳の展示やクラウドファンディングへの挑戦など新しいことを行ってまいります。

他にも7年度の貸館事業としては、俳句協会県大会や勝山商工会議所女性部総会、ピアノ発表会、茶会などの予約をいただいております。博物館を支えてくださる人たちへの還元となるよう、勝山城博物館としても活動していく所存でございます。

昨年学芸員が入職して、2年目に入ります。それぞれが当館の業務にも慣れ、各自で作業ができるようになってきました。今後も当館の発展や勝山市の発展に尽力していく所存でございます。

勝山城博物館では、観光にも力を入れ勝山市の指針でもあるインバウンドに対しても積極的に対応を行ってまいります。その他SNSなどの広報活動へも精力的に活動を行っていきたいと考えております。

## 2. 事業の概要

### (1) 主な事業

#### ① 勝山市・勝山城博物館連携第11回共催特別展

##### 「白山・平泉寺を訪れた人々 御開帳を中心に」(仮称)

日程 令和7年4月26日(土)～8月31日(日)(予定) (水曜通常休館)

今年、平泉寺で33年に一度の御開帳が行われます。勝山市内の各施設では展示など各種イベントを計画されています。はたや記念館ゆめおれ勝山や白山平泉寺歴史探遊館まほろばでは平泉寺白山神社で出土した遺物等の考古資料を中心として展示する計画であります。勝山城博物館では視点を変え図像や文書といった文献資料を中心とした展示を行い、式年際の様子等を紹介したいと考えています。

平泉寺の昔の御開帳を紹介することで、興味関心を高め、これから開催する御開帳記念賑わい創出事業に繋げていきたいと考えています。

#### ② 「賤ヶ岳合戦時屏風展」(仮称)

日程 令和7年9月20日(土)～11月24日(月・祝)(予定)

クラウドファンディングを行うことに連携して、賤ヶ岳合戦図屏風に関連した展示を計画しています。当館の所蔵する賤ヶ岳合戦図屏風の文化的価値と美術的価値を知っていただくことが、文化保存としても重要なことだと考えました。また、織田豊臣期以降、日本で有名な賤ヶ岳合戦の歴史も同時に紹介することで当館にある賤ヶ岳合戦屏風の認知度を向上させたいと考えています。本展覧会は財団の設立趣旨に沿うような「郷土的文化遺産を後世に継承していく」、「生涯教育の場として美術品等の文化遺産を一般公開する」旨に合致し、かつ県内外との交流にもつながるような展覧会となるよう考えています。

#### ③ 勝山市・勝山城博物館連携

##### 第20回絵画作品展「勝山とお城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 令和7年8月10日(日)～10月10日(金)

表彰式 令和7年11月3日(月・祝) 2階障壁画ホール

展示会 令和7年11月3日(月・祝)～11月23日(日)

この絵画展は奥越地区に根付き、長年の積み重ねが評価されて継続事業として続いています。今日、少子化、また、小学校の宿題の量の減少により出品数は減ってきておりますが、勝山の魅力、お城の魅力をより多くの方々に見ていただき、出品数が増えることに繋げていきたいと考えております。県外からの応募もある本企画は、子供から大人まで気軽にご応募でき、展示会には毎回多くの親子連れに足を運んでいただいております。未来の来館者に

も繋がるイベントと位置付けています。

## (2) 主な貸館事業

### ① 月例茶会の開催

期間 5、8月の第1日曜日（計2回を予定）

会場 2階和室「蘭月の間」

協賛 勝山市茶道連合会

当日ご来館いただいたお客様にお声掛けをし、和室にて呈茶席を設け、本格的な薄茶もしくは煎茶を提供いたします（要別料金）。当館の茶室で気軽に茶道に親しむ機会を提供いたします。

この他にも、随時当館の文化・教育事業に相応しいイベントでの利用を働きかけるとともに、貸館の申し込みを受け付けます。

## (3) 学芸活動

- ① 燻蒸作業は、共催特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います。（市から規定の利用料あり）館蔵品もその際同時に燻蒸庫を利用して燻蒸するほか、専用の防虫剤・調湿財の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

また、令和7年3月31日をもってエキヒュームS（燻蒸ガス）が販売終了となったため、他の燻蒸ガスに対応させるために燻蒸設備の改修を検討いたします。

- ② 調査研究活動では、引き続き研究会や所属学会への参加を通じて各地の学芸員や研究者との繋がり確保し、また、勝山市との連携協力や日本博物館協会の全国大会にも参加することで、館としても県内外の機関のネットワークに確実に認知されるよう活動してまいります。

どのような博物館であるかを知っていただくことで、作品貸し出しやその使用料収益、ひいては来館者増にもつながるものと考えております。

- ③ 平常展示では、館内設備の劣化や不足、地球環境の変化に伴う気温上昇で室温や湿度といった展示における重要なパラメーターが一定を保つことができない状態の中で、3階平常展示室において展示作品の保存と展示を考え、3階展示会場に空調設備を考えております。

また、作品保護のために定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そのままに、絵画、装束と刀剣の入替えをメインといたします。刀剣・銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍作品の入替えや西脇呉石作品入替えもできるだけ行ってまいります。県内の刀剣協会・書道団体にも当館の展示室をアピールしてまいります。

さらに、当館にある左義長櫓(1903年製 下袋田区)は市指定文化財になる予定があり、300年以上の歴史をもつ勝山左義長まつりと共に活用される文化財として紹介していきたいと考えております。

- ④ 館蔵品では、メンテナンスを考え、武具甲冑の専門家や絵画の専門家に修復や保存のためのアドバイスを受けようと考えています。多田清氏よりご寄贈頂いた屏風作品は経年劣化に伴う破損が目立ち、修復も今後検討しなければならないと考えております。
- ⑤ 共催特別展では、勝山市の職員と連携して展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすくインバウンドに対応した展示方法を模索いたします。

#### (4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 4月下旬
- ② 館外研修旅行 6月11日(水)(滋賀県 近江八幡)
- ③ 友の会だより第32号の編集・発行
- ④ 写真や版画など各種教室
- ⑤ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

#### (5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。勝山市との共催事業については「広報かつやま」へのご協力をいただく予定です。また、郵送料の値上げに伴い当館ホームページ及びSNSを利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、共催特別展、絵画展では新聞折り込みや広告の掲出も検討いたします。

### 3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例及び臨時理事会の開催 3回  
(事業計画(案)・収支予算(案)、事業報告・収支決算、人事(案))
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回  
(事業計画(案)・収支予算(案)、事業報告・収支決算、人事(案))